

政策 01 みんなで支えあう健康のまちづくり

施策 01 健康づくりの推進

あるべき姿

施策がめざす尾張旭市の姿
みんなが健康で元気に生活しています。

施策の成果状況と評価

グラフの凡例 基準値及び目標値、実績値

指標	健康だと思ふ市民の割合 (%) 【健康課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(H24)	(H29)	(H30)	(H30)	
		90.1	88.1	88.2	91	☂ (低下)
評価	(現状) 平成29年度から0.1ポイント増加しているが、平成30年度の目標値である91からは2.8ポイント低い状況であり、目標値には達成していない。 (原因) 各種健康増進事業を開催しているが、参加者が固定しており、健康に関心の高い市民と関心の低い市民と差があり、健康格差が広がっていると思われる。					☂ (対前年度)
						☀ (向上)
						☀ (目標達成度)
						(---)

指標	健康寿命(男性) (要介護度2以上に基づく)(歳) 【健康課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(H24)	(H29)	(H30)	(H30)	
		82.92	83.59	84.04	83.72	☀ (向上)
評価	(状況) 平成28年は、平成27年に比べ、0.45歳上昇した。 (原因) 高齢者数の増加により、要介護認定者数が平成27年の475件から平成28年は601件と増えてはいるが、女性の要介護2以上の半数以下であり、不健康者の割合が低い傾向にある。					☀ (対前年度)
						☀ (向上)
						☀ (目標達成度)
						🏰 (達成)

指標	健康寿命(女性) (要介護度2以上に基づく)(歳) 【健康課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(H24)	(H29)	(H30)	(H30)	
		85.89	85.53	85.23	86.69	☂ (低下)
評価	(状況) 平成28年は、平成27年に比べ、0.30歳下がった。 (原因) 高齢者数の増加により、要介護認定者数が平成27年の953件から平成28年は1289件と1.35倍に増えたことが影響していると思われる。					☂ (対前年度)
						☂ (低下)
						☂ (目標達成度)
						(---)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 健康増進事業の推進

グラフの凡例 基準値及び目標値、実績値

指標	健康づくり教室・元気まる測定への参加者数（人）	基準値 (H24)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (H30)	対 基準値
	【健康課】	3,563	2,903	3,115	5,000	☂ (低下)
評価	「あたまの元気まる」は、例年同様、部内各課から送付される個人通知にPRちらしを同封したほか、健康まつりと市民祭で1日ブースを開設した。また、筋トレグループへの出前のほか、イトーヨーカドーの催事スペースを2日間借用し、受検者の拡大を図った。健康づくり教室は、らくらく筋トレ教室が1教室依頼により例年より多く開催し、新たに糖尿病教室も開催。よって、受検者は3115名と増加した。ただ、「元気まる測定」や「あたまの元気まる」は、減少。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達 成 度
						(---)

基本事業01 健康増進事業の推進

指標	健康増進に取り組む平均実践項目数（全7項目中）（項目）	基準値 (H24)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (H30)	対 基準値
	【健康課】	2.71	3.04	2.95	3	☀ (向上)
評価	アンケートにより取得している数値のため、若干減少しているが、項目数と考えるとほとんど変わらない。					対 前年度
						☂ (低下)
						目 標 達 成 度
						(---)

基本事業02 健康相談・保健指導の充実

指標	健康相談対応率（％）	基準値 (H24)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (H30)	対 基準値
	【健康課】	100	100	100	100	☀ (向上)
評価	保健師、歯科衛生士、管理栄養士等の専門職を配置し、電話・面接による健康相談への対応ができる体制を整えており、相談対応率は100%を維持している。ただ、ここ数年、相談件数は減少状態になっている。様々な機関の相談窓口やインターネットの普及等により、情報が得られるようになったことが影響しているのではないかとと思われる。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達 成 度
						🏰 (達成)

基本事業02 健康相談・保健指導の充実

指標	（参考：相談件数）（件）	基準値 (H24)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (H30)	対 基準値
	【健康課】		7,991	7,840	9,500	☂ (低下)
評価	保健師、歯科衛生士、管理栄養士等の専門職を配置し、電話・面接による健康相談への対応ができる体制を整えており、相談対応率は100%を維持している。ただ、ここ数年、相談件数は減少状態になっている。様々な機関の相談窓口やインターネットの普及等により、情報が得られるようになったことが影響しているのではないかとと思われる。					対 前年度
						☂ (低下)
						目 標 達 成 度
						(---)

基本事業02 健康相談・保健指導の充実

グラフの凡例 基準値及び目標値、実績値

指標	保健事業への参加者数（人）	基準値 (H24)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (H30)	対 基準値
	【健康課】	14,947	12,730	12,345	16,600	☂ (低下)
評価	ここ数年、公募による集団健診の受診者、出生数の低下により乳幼児及びその保護者を対象とした保健事業への参加者が減少している。成人保健事業は、新たに糖尿病教室。母子保健事業は、だし生活を新たに立ち上げたが、参加延人数は平成29年度とほぼ同数であった。					対 前年度
						☂ (低下)
						目 標 達 成 度 (---)

基本事業03 早期発見・予防の充実

指標	定期的に健康診断（市・民間）を受けている市民の割合（％）	基準値 (H24)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (H30)	対 基準値
	【健康課】	81.6	81.9	82.0	83	☀ (向上)
評価	アンケート回答者が固定された集団ではないため、取得数値の変動があるが、概ね前年並みである。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達 成 度 (---)

基本事業03 早期発見・予防の充実

指標	乳幼児・児童生徒の定期予防接種の接種率（％）	基準値 (H24)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (H30)	対 基準値
	【健康課】	94	98.5	102.5	95	☀ (向上)
評価	前年度に比べ、実績値（H30）が4ポイント増加した。予防接種スケジュール管理モバイルサイト「あさビー予防接種ナビ」の配信により、接種漏れが容易に確認できるようになったことが要因と考えられる。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達 成 度 (達成)

基本事業03 早期発見・予防の充実

指標	高齢者の定期予防接種の接種率（％）	基準値 (H24)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (H30)	対 基準値
	【健康課】	52.7	47.9	48.9	55	☂ (低下)
評価	前年度に比べ、実績値（H30）が1ポイント増加した。愛知県広域予防接種制度により、かかりつけ医療機関での接種が可能となったことが要因と考えられる。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達 成 度 (---)

基本事業04 母子保健の充実

グラフの凡例 基準値及び目標値、実績値

指標	乳幼児健康診査受診率（％）	基準値 (H24)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (H30)	対 基準値
	【健康課】	96.1	96.8	97.2	96	☀ (向上)
評価	前年度に比べ、実績値（H30）が0.4ポイント増加した。未受診児に対して、電話・訪問等による追跡を実施し、受診勧奨を行ったことが要因と考えられる。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達 成 度
						🏰 (達成)

基本事業04 母子保健の充実

指標	乳幼児の健康状態が把握できている割合（％）	基準値 (H24)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (H30)	対 基準値
	【健康課】	99.5	99.8	99.2	99.5	☂ (低下)
評価	前年度に比べ、実績値（H30）が0.6ポイント減少した。乳幼児健康診査未受診児のフローチャートに沿って追跡をしている。把握できるまで時間がかかるため、4月末の時点では、未把握の児が多くみられた。					対 前年度
						☂ (低下)
						目 標 達 成 度
						(---)

基本事業04 母子保健の充実

指標	母子保健サービスに対する満足度（％）	基準値 (H24)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (H30)	対 基準値
	【健康課】	77.7	83.5	79.6	80	☀ (向上)
評価	前年度に比べ、実績値（H30）が3.9ポイント減少した。アンケートにより習得している数値のため、変動はあると思われるが、様々な子育て環境の変化に伴い、市民のニーズにあわなくなっている可能性もあり、要因の一つとして考えられる。					対 前年度
						☂ (低下)
						目 標 達 成 度
						(---)

基本事業05 市民参加による健康づくりの推進

指標	ボランティアとの協働による健康づくり事業数（事業）	基準値 (H24)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (H30)	対 基準値
	【健康課】	8	8	8	8	☁ (横ばい)
評価	前年度と今年度の実績値（H30）は同数であった。各団体の構成員の高齢化が進み、協力困難な団体もでてきたが、新たに学生ボランティアの協力を得ることができた。					対 前年度
						☁ (横ばい)
						目 標 達 成 度
						🏰 (達成)